

模擬問題

2024最終・社福国試対策

社会調査の基礎 (79) ~組織と経営 (129)

【社会福祉調査の基礎】

問題 79 抽出法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 標本抽出の方法は3つの方法があるとされている。
2. 主として用いられる抽出方法は有意抽出法である。
3. 標本抽出を行った際、標本誤差が出るのは抽出に問題があるからである。
4. 単純無作為抽出法の場合、母集団と標本の間にズレが出ることが多い。
5. 層化多段抽出法は標本誤差が出ない方法である。

問題 80 統計調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 名義尺度と順序尺度は量的変数に分類される。
2. パーセント(%)は絶対度数と見ることができる。
3. 最大値と最小値から外れ値を外すことはできない。
4. 平均値から外れ値を外すことはできない。
5. 平均値と中央値は重なることが多い。

問題 81 社会調査の倫理に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

1. 自分が調査対象者であることを、調査者以外に知られないこと。
2. 調査の確度を高める為に、調査対象者に調査を受けるように説得すること。
3. 調査結果を報告する時に、対象者が特定されないように一部の情報を開示しないこと。
4. データの中立性確保のため、調査データの利用方法を、調査対象者に提示しないこと。
5. 調査データの二次利用のために、生データをオープンデータとして公表すること。

問題 82 社会福祉施設に、ボランティアとして入りながら、施設と地域社会の交流のあり方を調査した場合、このような調査における観察方法に該当するものを2つ選びなさい。
なお、社会福祉施設には調査を行う目的でボランティアを行うことの了承は受けているものとする。

1. 自然観察法
2. 実験的観察法
3. 非参与観察法
4. 参与観察法
5. アクションリサーチ

問題 83 調査票の質問文の作り方に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 思考の連続性を確保するために、同じ傾向の内容の文を連続した方が良い。
2. 個人的な事柄と捉えている思考と一般的な事柄と捉えている思考は分けない方が良い。
3. 1つの文に2つ以上の論点は入れない方が良い。
4. 誤解に基づいた回答を避けるために、日常的な言葉を使った方が良い。
5. 意味を厳密に扱えるように、専門用語を多く使った方が良い。

問題 84 インターネットを利用した調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 母集団に対する調査対象の代表性は考慮しなくても良い。
2. オープン型とクローズド型に分けられる。
3. 郵送調査よりも回収率が高い。
4. 調査会社の登録者に対して行う調査はオープン型である。
5. インターネット広告などで募集した人に行う調査はクローズド型である。

【高齢者福祉】

問題 85 「令和4年版高齢社会白書」（内閣府）にみる高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査について、次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

1. 生きがいを感じる程度について、65歳以上の人の約7割は生きがいを感じている。
2. 親しくしている友人・仲間をどの程度持っているかについて、65歳以上の人の約8割が親しい友人・仲間を持っている。
3. ふだんの外出について、65歳以上の人の約6割の人が外出している。
4. 情報機器の利用内容について、「SNS (Facebook, Twitter, LINE, Instagramなど) を利用する」が最も高い割合となっている。
5. 社会活動への参加について、活動内容では「趣味（俳句、詩吟、陶芸等）」が最も高い割合となっている。

問題 86 高齢者保健福祉施策の変遷に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 老人家庭奉仕員派遣制度は1990（平成2）年の老人福祉法改正時に、デイサービスやショートステイとともに法定化された。
2. 老人福祉法による70歳以上の者に対する老人医療費の支給制度は、1990（平成2）年の老人福祉法の改正時に創設された。
3. 1990（平成2）年の老人福祉法の改正により、特別養護老人ホーム等の入所決定権が都道府県から市町村に移譲された。
4. 老人保健福祉計画の策定は、高齢者保健福祉推進十か年戦略（ゴールドプラン）の中で、各地方自治体に義務付けられた。
5. 老人福祉法（1963（昭和38）年）により、軽費老人ホームが規定された。

問題 87 認知症総合支援事業について次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 認知症初期集中支援チームは、早期入院治療の初期対応体制をとる。
2. 認知症初期集中支援チームでは、介護サービスが中断している者は対象としない。
3. 認知症初期集中支援チームの初回訪問は、介護系職員が2名以上で行う。
4. チームオレンジコーディネーターは、市町村、地域包括支援センター等に配置される。
5. 認知症地域支援推進員は、認知症サポーターの講習を受けた者で、地域で認知症の方やその家族の支援をできる範囲で手助けをする役割を担う。

問題 88 要介護認定の仕組みとプロセスについて、次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 第2号被保険者の場合、要介護状態や要支援状態の発生原因が10種類のいずれかの特定疾病であることが要件のひとつとなっている。
2. 要介護（要支援）認定の申請は、保険者である都道府県に行う。
3. 認定調査は、80項目について行われる。
4. 保険者は、認定結果通知を申請日から15日以内に行なわなければならない。
5. 要介護（要支援）認定の結果や、保険料の決定などの処分に対する不服申し立ては、介護保険審査会に対して審査請求を行うことができる。

問題 89 介護保険制度における国民健康保険団体連合会の役割に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 地域支援事業に必要な費用を充てるため、地域支援事業交付金を支払う。
2. 被保険者の資格管理に関する事務を行う。
3. 保険料の徴収に関する事務を行う。
4. 介護サービス情報の公表に関する事務を行う。
5. 第三者行為求償事務を行う。

問題 90 介護支援専門員の役割に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 介護保険サービス以外のサービス等を含む居宅サービス計画を作成することはできない。
2. 少なくとも1か月に1回、利用者の居宅訪問・面接（モニタリング）を行わなければならない。
3. 要介護認定後、介護支援専門員が、要介護者に対して訪問介護計画を作成する。
4. 介護支援専門員証には3年の有効期間が設けられ、有効期間の更新のために研修を受講しなければならない。
5. 少なくとも月に1回、サービス担当者会議を開催しなければならない。

【児童・家庭福祉】

問題 91 濃尾大地震の折、20数名の孤児を引き取り、自宅を開放して「孤女学院」を開設し、そのうち2名が知的障害児であったことがきっかけとなり、知的障害児施設「滝乃川学園」を設立した。
これに関係する人物として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 石井十次
2. 留岡幸助
3. 森島峰
4. 石井亮一
5. 赤沢鍾美

問題 92 児童福祉における行政機関と関連機関の役割について、正しいものを1つ選びなさい。

1. 国における要保護児童対策地域協議会の設置は努力義務である。
2. 都道府県における児童自立支援施設は任意設置である。
3. 市町村における福祉事務所の設置は必置である。
4. 市町村における母子健康包括支援センターの設置は義務である。
5. 都道府県における児童相談所の設置は義務である。

問題 93 子ども家庭福祉にかかわる専門職について、正しいものを1つ選びなさい。

1. 児童福祉司として5年以上勤務した者または、資格取得後、5年以上所員として勤務した者が児童相談所所長としての資格を得られる。
2. 児童福祉司は、社会福祉士の資格を所持しなければならない。
3. 保育士の資格を有している者は児童指導員（任用資格）になることができる。
4. 里親支援専門相談員は、2012年4月より乳児院と児童養護施設に配置できるようになった。
5. 児童心理司は、公認心理師の資格を所持しなければならない。

問題 94 社会的養護に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 児童相談所長は、保護者の同意なしに児童を一時保護できない。
2. 児童相談所は、児童の安全を最優先とするため早急に入所措置または里親に委託する措置をとる必要がある。
3. 親権者等の同意なく1か月以上にわたり子どもの一時保護を行う場合、家庭裁判所の承認を得なければならない。
4. 施設養護を提供する施設は、社会性を身につけるために可能な限り集団や大人数に近い環境にあるべきとされている。
5. 児童相談所長は、児童養護施設等に一時保護を委託できる。

問題 95 保育に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 保育の実施義務は都道府県にある。
2. 認定こども園は、幼保連携型、幼稚園型、保育所型の3類型である。
3. 保育の必要性の認定は、都道府県が行う。
4. 教育・保育の認定区分は1号認定、2号認定、3号認定の3区分である。
5. 幼保連携型認定こども園は、「児童福祉施設」（児童福祉法7条）には当たらない。

問題 96 事例を読んで、Bさんが利用する機関として検討する上で、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Bさん（10歳，男性）が通う小学校のスクールソーシャルワーカーから児童相談所に相談があった。Bさんから衣服の汚れが目立ち，給食では一心不乱に食べる様子がうかがえた。同時に大腿骨付近にもアザがみられ，担任からの声掛けに対して身体を硬直させる仕草が見られた。Bさんの父親は幼少期のころに離婚しており，現在母親とBさんの二人暮らしである。母親は既往歴にアルコール依存症の課題があり，現在も精神科に通院している。父親は最近のBさんを見て，日常の衣食住を安定させるためには施設の利用を検討する方がよいのではと悩んでいる。Bさんも精神的に不安定な状態で生活しているとのことである。

1. 自立援助ホーム
2. 児童養護施設
3. 児童心理治療施設
4. 母子生活支援施設
5. 児童自立支援施設

【貧困に対する支援】

問題 97 生活保護法が規定する基本原理・原則等に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

1. 生活困窮に陥った原因が個人にある場合は、保護を受けることができない。
2. 保護請求権は一身専属権であるため、本人以外の申請は認められていない。
3. 保護は、内閣総理大臣の定める基準により測定した要保護者の需要に基づいている。
4. 生活保護法の目的は、最低限度の生活の保障と自立の助長である。
5. 世帯単位原則では、個人を単位として保護の要否及び程度を定める場合がある。

問題 98 公的扶助制度の歴史に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 恤救規則（1874年）は、原則として国家による扶助を中心とした。
2. 救護法（1929年）は、救護の種類として、「生活扶助」「医療」「助産」「葬祭扶助」の4種類とした。
3. 旧生活保護法（1946年）は、保護機関を都道府県知事とした。
4. 旧生活保護法（1946年）で、保護請求権が明記された。
5. 新生活保護法（1950年）は、全ての国民を対象とした一般扶助主義を確立した。

問題 99 生活保護制度における国と自治体の費用負担区分に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 市または福祉事務所を設置している町村内居住者の保護費については、市及び福祉事務所を設置する町村が4分の3を負担する。
2. 指定都市・中核市内居住者の保護費については、指定都市・中核市が4分の3を負担する。
3. 居住地の明らかでない者の保護費については、国が全額負担する。
4. 社会福祉法人立または日本赤十字社立の保護施設整備費については、国が4分の3を負担する。
5. 都道府県支弁費用の被保護者就労支援事業については、国が4分の3を負担する。

問題 100 生活保護制度に関わる専門職に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

1. 令和4（2022）年4月1日から施行された「民法の一部を改正する法律」により、社会福祉主事は18歳から取得できるようになった。
2. 指導監督を行う所員、現業を行う所員は、社会福祉士でなければならない。
3. 福祉事務所を設置していない町村は、要保護者の状況や実態の把握を要するため社会福祉主事を置かなければならない。
4. 市が設置している福祉事務所の社会福祉主事は、生活保護法の施行について、市長の事務の執行を補助する。
5. 現業員は、福祉事務所長の指揮監督を受けて、現業事務の指導監督を行うこととされている。

問題 101 生活困窮者自立支援法に基づく事業に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

1. 自立相談支援事業は、福祉事務所設置自治体の実施主体となる必須事業である。
2. 住居確保給付金は福祉事務所設置自治体の実施主体となる必須事業である。
3. 就労準備支援事業は福祉事務所設置自治体の実施主体となる必須事業である。
4. 認定就労訓練事業（いわゆる「中間的就労」）は福祉事務所設置自治体の実施主体となる必須事業である。
5. その他生活困窮者の自立の促進を図るために必要な事業は、福祉事務所設置自治体の実施主体とある必須事業である。

問題 102 事例を読んで、この時点におけるS市福祉事務所のJ生活保護現業員（社会福祉士）の対応に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

S市でアパートを借り生活をしてきたBさん（36歳、男性）は、単身で生活をしており、家族や友人との繋がりが少ない。3年前に仕事を退職し、それ以降は無職で貯金を切り崩し生活していたが、貯金が底をつき食事ができない日々が続いていた。ある日、道ばたで倒れ救急車でS市の病院に搬送されたところ、医療費を払うことができない状態であった。K医療ソーシャルワーカーの助言で、S市福祉事務所に生活保護の申請をすることとした。

1. 必要な書類が揃っていないため、申請はできないと伝えた。
2. 申請はK医療ソーシャルワーカーでも可能であると伝えた。
3. 申請日より原則14日以内に文書にて通知する旨を説明した。
4. 申請については、医師の診断書が必要であると説明した。
5. 退院後の生活を把握するため、本人の同意を得て病院のカンファレンスに同席した。

【保健医療と福祉】

問題 103 「令和3（2021）年度国民医療費の概況」（厚生労働省）に基づく国民医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 国民医療費には、市販薬の費用も含まれる。
2. 国民医療費には、身体障害のために必要とする義眼や義肢等の費用は含まれない。
3. 財源別国民医療費は、公費の割合が保険料の割合より大きい。
4. 人口一人当たり国民医療費は、65歳未満より、65歳以上のほうが少ない。
5. 医科診療医療費の疾病分類別で見ると、新生物が最も多い。

問題 104 医療の提供にかかわる施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 介護老人保健施設は、医療法において医療提供施設の一つと位置づけられている。
2. 病院とは、最大19人の患者を入院させるための施設を有するものとされている。
3. 特定機能病院は、都道府県知事の承認を受けることとされている。
4. 地域医療支援病院は、24時間体制で往診や訪問看護を行うとされている。
5. 在宅療養支援病院の承認要件には、救急医療を提供する能力を有することが含まれている。

問題 105 診療報酬制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 診療報酬点数表は、都道府県ごとに設定されている。
2. 診療報酬は、厚生労働大臣が決定する。
3. 外来診療報酬は、包括払い方式を採用している。
4. 入院患者の診療報酬は、入院日から退院日までの診療をまとめて請求する。
5. 診療報酬の改定は、介護報酬改定と同時に行われ、6年に一度とされる。

問題 106 医療・福祉の専門職の業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 看護師は、都道府県知事の免許を受けて傷病者や褥婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう。
2. 言語聴覚士は、診療の補助を行うことはできない。
3. 介護福祉士であれば、介護施設や在宅訪問介護等において、痰の吸引や経管栄養等の医行為を実施することができる。
4. 作業療法士は、「保健師助産師看護師法」の規定にかかわらず、診療の補助として作業療法を行うことができる。
5. 保健師は、自らの判断で傷病者の療養上の指導を行うことができる。

問題 107 医療計画に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 糖尿病は5疾病には含まれない。
2. 策定は、都道府県と市町村に義務づけられている。
3. 在宅医療に関する記述は求められない。
4. 二次医療圏とは、特殊な医療を提供する病院の病床の整備を目的とした、都道府県を基本の単位として設定される。
5. 一般病床、療養病床を有する病院又は診療所の管理者は、毎年病床機能を都道府県知事に報告しなければならない。

問題 108 事例を読んで、医療ソーシャルワーカーの他職種・他機関との連携に関する説明として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

会社員のMさん（50歳，男性）は，脳梗塞を発症しB大学病院に救急搬送され手術を受けた。右半身の上下肢の麻痺が残っているが，仕事と生活のことが気がかりで，できるだけ早く退院したいと希望している。しかし，脳外科のカンファレンスでは，集中的なリハビリテーションを行うことで，さらに回復が見込まれるとの意見が出された。

1. Mさんの希望をかなえるため，Mさんの気持ちを代弁し，自宅退院に方針を進めるよう医療チームを説得した。
2. Mさんと家族，主治医，看護師，理学療法士，作業療法士が参加するカンファレンスを設定し，現在の状況とリハビリテーションの効果と回復が見込まれることを説明した。
3. 集中的なリハビリテーションを実施する場として，回復期リハビリテーション病棟（病院）を紹介した。
4. 介護保険が適応されないため，住宅改修など自宅環境を整えたい場合は自己負担となることを説明した。
5. 経済的問題の解決として，生活保護の申請を勧めた。

【ソーシャルワークの基盤と専門職】

問題 109 事例を読んで、ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点に基づく支援として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

警察署よりA地域包括支援センターに、Bさん（88歳、男性）についての協力依頼があり、C相談員（社会福祉士）がBさんの自宅を訪問した。Bさんは、昨日の朝8時、散歩に行くと言って出ていったが16時間後、近くの商店街を一人で歩いているところを警察官によって保護され、自宅に送り届けられたとのことだった。Bさんは「どこを歩いてきたか覚えていない。」と話している。Bさんは、寝たきりの妻と二人暮らしで子どもはいない。このままでは、再び徘徊し、事件・事故に遭遇する可能性があるが、本人は自宅での生活を望んでいる。

1. 近隣住民や商店街に協力を要請し、発見と見守りの機能を強化する。
2. 訪問を重ね、Bさんと妻に利用可能な介護保険のサービスを勧める。
3. 医学的な判断が必要な状況であると考え、Bさんのかかりつけ医に協力依頼をする。
4. A地域包括支援センターが担当している地域に、Bさんと同じようなニーズが発生していないかを調査し、確認する。
5. 困難な事例であるので、Bさんへの支援についてはA地域包括支援センターが一手に引き受ける。

問題 110 相談援助専門職に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 福祉事務所に配置される現業員とは、現業事務の指導監督をつかさどる者のことである。
2. 児童相談所に配置される児童福祉司とは、心理検査やカウンセリングなど、主に心理的な側面からの支援を行う者のことである。
3. 市区町村社会福祉協議会には、地域住民に身近な社協として、地域住民からの福祉に関する相談や地域の福祉ニーズへの対応などの活動の推進を目的として福祉活動専門員が配置される。
4. 中学校に配置されるスクールソーシャルワーカーは、社会福祉士でなければならない。
5. 介護老人福祉施設に配置される生活相談員は、社会福祉士でなければならない。

問題 111 ソーシャルワーク実践の場において生じる倫理的ジレンマに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. ドルゴフ (Dolgoff, R.) らによって提示された倫理的指針選別順位によれば、最も重要とされるものは、プライバシーと守秘義務である。
2. クライアントの自己決定は尊重されるべき重要な価値であるので、クライアントに脅威を与えると考えられる場合でも本人の自己決定を尊重する。
3. 実践現場にて倫理的ジレンマが生じた場合には、その判断は、現場で実践している社会福祉士の倫理的判断に委ね対応することが望ましい。
4. 倫理的ジレンマは、その過程を記録に残し、最も倫理的な判断を行う。その過程の記録は、クライアントの情報をすべて記録しておくことが望ましい。
5. 倫理的ジレンマはソーシャルワーカーに過大なストレスをもたらすとともに、対応によってはクライアントや関係者に多大な悪影響を与える。

問題 112 事例を読んでR市の社会福祉協議会に勤務するB社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

ある日、B社会福祉士は民生委員からAさん（82歳、男性）のことで相談を受けた。民生委員によると「Aさんは長年、今の自宅で生活しており、ボランティア活動などにも積極的に参加する社交的な性格だったが、1年前に妻を亡くしてからは引きこもりがちになった。いつも一緒に活動していて、近所でも有名なおしどり夫婦だった。半年ほど前からAさん宅から異臭がするようになり近所の方は認知症になったのではないかと心配されている様子。」とのことだった。そこで、B社会福祉士は民生委員とともにAさんの自宅に訪問した。自宅内はゴミが山積みになっている状態であり臭いもかなりしていたが、Aさんは「特に問題はない。放っておいてくれ。」と語るのみであった。

1. 自宅の状況から金銭管理も出来ていないと考えられるので、日常生活自立支援事業の利用を提案する。
2. 本人の意向を尊重し、生活状況に対する介入や対応はせずしばらく様子を見る。
3. 認知症により在宅生活は難しいと判断し、医療機関への入院を勧める。
4. ソーシャル・サポート・ネットワークの構築・強化のため、関係機関や地域住民等に対する働きかけを行う。
5. 自宅の状況がゴミ屋敷の状態であることを伝え、清掃業者を依頼する。

問題 113 事例を読んで、訪問面接終了後のP社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Oさん（75歳、女性）から、独居生活に関する相談ということでP社会福祉士が所属する地域包括支援センターへ連絡があった。後日、P社会福祉士がOさん宅を訪問し、相談を受けた。自分の悩みに対して親身に話を聴いてもらえたことに気分をよくしたOさんは、訪問面接終了後、旅行先で購入したお土産を、P社会福祉士に手渡そうとした。

1. P社会福祉士が所属する事業所には利用者からの物品の受領に関する規定がなかったため、問題がないと判断し、受け取る。
2. 社会福祉士の倫理綱領に違反するとして、Oさんを注意する。
3. Oさんの思いを汲んだ上で、物品を受け取れないことを説明する。
4. 本当は受け取ってはならないということを伝えた上で、受け取る。
5. 秘密保持の原則に従って、二人だけの秘密として受け取る。

問題 114 事例を読んで、地域包括支援センターのD社会福祉士のこの段階における対応として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

D社会福祉士は要支援2のJさん（72歳）のケアマネジメントを担当している。ある日、Jさんが利用している通所リハビリテーションの担当者から連絡を受け、最近Jさんが利用を休みがちであることを聞いた。そこでJさん宅に訪問して、様子をうかがうこととした。

1. 通所リハビリテーションの何が嫌なのかを明確にする。
2. 家族から、通所するように説得してもらう。
3. 別の通所リハビリテーションの利用を勧める。
4. 最近の体調や変化について聞き取りを行う。
5. Jさんが通所リハビリテーションの利用をどう捉えているかを引き出す。

【ソーシャルワークの理論と方法】

問題 115 事例を読んで、B就労継続支援B型事業所のF生活支援員（社会福祉士）によるストレングス視点に基づいた対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Kさん（18歳）はB就労継続支援B型事業所の利用を検討しており、見学に来た。事業所で行っている清掃作業を見学した後、KさんはF生活支援員に「大勢の人と話すのが苦手で、初めてのところは不安」「難しそうだけど、雑巾で拭くのは家でもやっているののでできそうな気がする」と話した。

1. 他の利用者との交流方法を検討する。
2. Kさんと同じ年齢の利用者が実施している作業をKさんに教える。
3. Kさんが自宅で行っている雑巾掛けから取り組んでみることを提案する。
4. 人と話すのが苦手な原因を探る。
5. 周囲の人に迷惑をかけないように取り組むことを約束してもらう。

問題 116 相談援助のための面接に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 面接は普通の会話と比較して意図的な目的をもつ。
2. 面接は、空間的条件が整った面接室で行うことと定められている。
3. 非言語的な表現の観察においては、クライアントの言葉と行動が一致したときの状況を捉えることによって、正しく理解することができる。
4. 傾聴は、単にクライアントの語ることを聴くというだけでなく、聴いていることをクライアントに伝えることも含む。
5. 開かれた質問よりも閉ざされた質問を行うことにより、クライアントは自由に自分の気持ちを話すことができる。

問題 117 アウトリーチに関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 特に援助を利用する動機づけに乏しいボランティアなクライアントに対するはたらきかけとして重視されている。
2. 対象は、クライアントだけでなく、彼らの周囲の地域住民や地域社会を含む。
3. 地域住民とのつながりを構築することが、対象のクライアントとのかかわりにつながる。
4. 時間や労力面からみると効率性に欠けるものであるため、ソーシャルワーカーが個人的に行うことが望ましい。
5. 対象のクライアントが援助を受け入れようとしない場合は、まずはソーシャルワーカーがサービス提供の手配をする。

問題 118 事例を読んで、M社会福祉士が、個別支援を地域支援に展開していくための対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

P市社会福祉協議会のM福祉活動専門員（社会福祉士）は、民生委員からNさん（72歳）のことで相談を受けた。Nさんは、軽度認知症の夫と2人暮らしである。Nさんは現在健康であり、夫の介護保険サービスの必要性を感じておらず利用していない。しかしNさんはちょっとした用事で夫を残して外出するときに不安を感じ、身近に話し相手や夫婦で気軽に出かけられる場所があればと話していたという。また民生委員は、この地域には一人暮らしや高齢者世帯が増えていると感じているとのことだった。

1. Nさんの夫の介護保険の申請を行う。
2. 夫婦二人で入所できる施設を紹介する。
3. 民生委員に、Nさんの夫の見守りを依頼する。
4. 社会福祉協議会に併設している通所サービスのパンフレットを渡す。
5. 住民を交えて、地域住民が気軽に集える居場所づくりについて話し合いを行う。

問題 119 事例を読んで、B医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）のこの段階における対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Yさん（67歳）は脳梗塞で入院中であるが、症状は軽度であり、主治医から退院可能だと説明を受けた。Yさんは主治医に、一人暮らしで退院するのは不安だと話をしたため、主治医はB医療ソーシャルワーカーに生活相談に乗ってほしいと依頼した。担当看護師に促されて相談室を訪れたYさんは、部屋に入るなり「病院から追い出すつもりだろう」と大きな声で話した。

1. 介護保険のサービスを利用すれば大丈夫であると説明して、安心してもらう。
2. 病院のベッド状況について、わかりやすく説明する。
3. 冷静に話をするように諭す。
4. Yさんに寄り添って、入院中の治療経過について説明する。
5. B医療ソーシャルワーカーの役割を説明し、退院後の事を一緒に考えたいと伝える。

問題 120 C医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）は、がんで治療中の子どもの親たちとの面接を重ねるなかで、グループワーク導入の必要性を感じていた。親のニーズを把握するために、ある母親に聞き取りを行ったところ、近隣に子どものことを気軽に話せる知りあいがいないことや、将来に対する不安があることが語られた。C医療ソーシャルワーカーは、グループワークの実施に向けて準備を行うこととした。次の記述のうち、この段階でC医療ソーシャルワーカーが行うこととして、適切なものを2つ選びなさい。

1. 病院内でグループワークを実施する意義を説明し、他職種や同僚からの理解を得る。
2. 参加するメンバーの役割を割り振る。
3. グループワークを行う場所や開催時期について検討する。
4. 先入観をもたずにグループワークを実施するため、グループワークの初日までは参加するメンバーについての情報収集を行わない。
5. 最初に聞き取りを行った親に初回の司会を依頼する。

問題 121 次のうち、ネットワークに関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ソーシャルサポートネットワークとは、社会制度化されているサポートシステムのことである。
2. 家族、友人、隣人、職場の同僚などによるサポートシステムは、意図的につくられる。
3. ネットワーキングは、固定的なものである。
4. ネットワークは、身近な小地域から、中地域、広域、都道府県、国全体とさまざまなレベルで形成される。
5. 潜在化したニーズは、住民よりも専門職同士のネットワークによって発見できる。

問題 122 D君（14歳）は、母親が病気のために入退院を繰り返しているため、出生後に乳児院に入所し、その後、児童養護施設で生活している。進路決定の時期になったので、児童養護施設のE職員はD君と面接を行った。D君は、「高校には行かない」「施設を出てアパートを借りる」と話した。中学卒業後にはどのようなことをしたいのかを尋ねたところ、「自分で働くしかないだろう。誰も頼りにできないんだよ」と感情的に言った。

次の記述のうち、この面接でのバイステックの原則に基づいたE職員の関わりとして最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 個別化の原則に基づき、D君と同じくらいの学力の先輩が通学している高校への入学を勧める。
2. 統制された情緒的関与の原則に基づき、D君の感情が収まるようになだめる。
3. 意図的な感情表出の原則に基づき、E職員の率直な気持ちをD君に伝える。
4. 非審判的態度の原則に基づき、D君の話を聴きながら、具体的な希望について尋ねる。
5. 自己決定の原則に基づき、D君の決定を認めてその場で退所の手続きを進める。

問題 123 事例を読んで、Kスクールソーシャルワーカー（社会福祉士）の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

M中学校では、不登校の子どもをもつ親をメンバーとした集まりを開催しており、Kスクールソーシャルワーカーが関わっている。集まりが開始してから2か月経過したある日の集まりで、参加者のLさんが「この会で他のお母さんと情報交換できたことは有意義だが、相変わらず親子関係は変わらず、何の問題解決もできていない」と話した。

1. 雰囲気を保つために、Lさんに別室に移動してもらい個別対応をする。
2. 集まりで得た情報を自宅で実践した上での発言なのかをLさんに確認する。
3. Lさんの要望はこの集まりの目的とは異なるので、他の会を紹介する。
4. 現状でのLさん親子に適切な問題解決策を提案する。
5. Lさんの意見を受け止め、他の参加者はどのような思いをもっているかを話し合うこととする。

【福祉サービスの組織と経営】

問題 124 医療法人に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 社会医療法人において収益事業は実施可能であり、特段の定めは設けられていない。
2. 地域医療連携推進認定を受けようとする一般社団法人は、厚生労働大臣に申請しなければならない。
3. 令和5年度における医療法人は約58,000となっており、そのうち財団の医療法人が99%を占める。
4. 医療法人の設立は、社会福祉法人同様の認可主義となっている。
5. 地域医療構想とは、急性期・回復期・慢性期の3機能ごとに医療需要と必要病床数を推計したものである。

問題 125 特定非営利活動法人に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 特定非営利活動法人は登記をすることにより、活動することが出来る。
2. 特定非営利活動法人における通常社員総会は毎年1回以上開催される必要がある。
3. 総社員の3分の1以上の請求がある場合には、臨時社員総会を開かなければならない。
4. 特定非営利活動は、12分野に限定されており不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする。
5. 認証法人における特定非営利活動事業の経常収益について、その収入源別にみると、補助金・助成金が最も多く、次いで寄付金となっている。

問題 126 リーダーシップに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. レヴィンの研究では、リーダーシップスタイルとして①専制的、②民主的、③放任的の3つに分類された。
2. ミシガン大学における研究において、「構造づくり」と「配慮」という2つの次元が見いだされた。
3. ブレークとムートンによって展開されたのが、PM理論である。
4. フィドラーはLPCスコアが高いリーダーは「目標達成志向型」で対人支配型の行動をとる人間と分類した。
5. ハーシーとブランチャードによると、メンバーの成熟度がきわめて高い状況では、「指示的リーダーシップ」が有効になるとされている。

問題 127 集団とモチベーションに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. マクレランドによると、権力動機の強い人は、業績に強い関心を示す。
2. ポーターは、自身の処遇が公平か不公平化によって働く意欲に影響を与える公平理論を展開した。
3. アダムスは、「努力が報酬に結びつく期待」と「報酬がもつ主観的価値」の積によって個人の努力が決まるといった期待理論を展開した。
4. ハーズバーグは、ハイジーンファクターの予防が積極的な動機づけに繋がることを提唱した。
5. メイヨーはホーソン実験の指導者でもあり、人間関係論の根本的理念を確立した。

問題 128 社会福祉法人の財務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 社会福祉充実残額は社会福祉充実計画を策定した上で、社会福祉事業または公益事業、収益事業の実施を検討する。
2. 貸借対照表における借方とは、財産を形成するために用いた財源とされている。
3. 施設経営において単年度で赤字があった場合、短期借入金にて財源を確保する必要がある。
4. 社会福祉法人は永続性を確保するために、多額の利益蓄積をする必要がある。
5. 資金収支計算書における支払資金とは、流動資産と流動負債との差額を指す。

問題 129 福祉サービスの財源に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. ソーシャルインパクトボンドとは、官民連携による資金調達の仕組みを指す。
2. ファンドレイジングは、資金獲得に関連した活動であるため、人的な資源確保は含まない。
3. プロボノとは、非営利組織の経営活動等を側面支援する中間支援組織を指す。
4. インターメディアリーとは専門家によるボランティアのことを指す。
5. クラウドファンディングはSNSなどを活用して行われる取り組みのため、会費による自主財源は含まない。